2017年度 第8回関私教協幹事校会議事録

1. 日 時：2017年11月28日（火） 19:00～21:00

2. 場 所：明星大学 日野校舎 27号館 5階 501教室

3. 出席者

【幹事】西村 宗一郎（北里大学・事務局長）、小山 将史（日本工業大学・事務局次長）、木下 ひさし（聖心女子大学・事務局次長）、手島 陽介（杉野服飾大学）、須川 公央、中林 俊明（白梅学園大学）、徳田 光治（成城大学）、左巻 健男（法政大学）、富樫 伸、村岡 慈歩（明星大学）、岡田 愛（立正大学）、田中 孝一（川村学園女子大学）、吉國 陽一、藤原 隆紘（田園調布学園大学）、五十嵐 寧（日本工業大学）、長沼 秀明（川口短期大学）

【事務担当】広野 彰（北里大学）

【オブザーバー】鈴木 裕司（明星大学）

4. 協議

[報告事項]

(1) 研究部の活動について

- ・第1部会…12月9日（土）城西大学紀尾井町キャンパスで第3回を開催する。教育実習にかかわる課題を項目別に挙げ、どのように対応しているか部会員校の回答を分析整理して、今後のテーマを抽出していくことを考えている。
- ・第2部会…次回は1月を予定している。
- ・第3部会…12月2日（土）日本女子大学で第3回を予定している。内容は、科目の大きくくり化を中心とした再課程認定に向けた各参加校の取り組み状況についてである。
- ・第4部会…次回は1月を予定している。
- ・第5部会…次回は12月22日（金）を予定している。
- ・第6部会…昨年度の「教育実習及び介護等体験におけるハラスメント対応についての調査」報告書を刊行し、また、今年度の「教育実習におけるハラスメントの実態調査」を配布し調査中である。
- ・第7部会…11月16日（木）工学院大学で第3回を開催し、千葉工業大学から講師を招き、フランスの小中高のカリキュラムについての講演後、協議をした。次回は、1、2月を予定している。
- ・第8部会…11月12日（日）に教員育成会議、教員育成指標にかかる調査アンケートをメールにて、会員校宛に配信し、12月11日（月）を締め切りとし、集計整理をする。

○地区の活動について

- ・北部地区…次回は2月17日（土）埼玉会館で予定している。内容は、教員育成指標について埼玉県教育委員会から何う予定である。
- ・千葉・茨城地区…11月16日（木）に第2回を開催した。内容は①教職センターの設置状況について②再課程認定の作業の現状についての2つのテーマについて、川村学園女子大学から報

告を受け全体で協議をした。第3回を2月に予定している。

- ・神奈川・山梨地区…2月の会合に向けて、地区会長校のフェリス女学院大学とテーマ等の打合せをしている。

(2) 次年度の幹事校について

西村事務局長から、資料に基づき次年度の幹事校について説明があり、東京Aは亜細亜大学・日本体育大学、東京Bは清泉女子大学・大正大学、東京Cは東洋学園大学・明治学院大学、千葉・茨城は秀明大学、北部は十文字学園女子大学、短期大学は帝京短期大学の各大学が幹事校となるので、交代する幹事校は、新幹事校への連絡を要請した。千葉・茨城地区の秀明大学については、関私教協の会員校ではないが（来年度会員校申請手続き済み）、第2回研究懇話会にオブザーバー参加の勧誘通知を出すことを了承された。

(3) 全私教協理事会報告について

木下事務局次長から資料に基づき報告があった。主な内容は以下のとおり。

- ・2018年度定期総会・第38回研究大会は、2018年5月19日（土）～20日（日）ロイトン札幌、札幌ガーデンパレス、酪農学園大学で予定している。関私教協から分科会のテーマを3月10日までに報告し、発表要旨は4月初旬までに提出することとなり、従来より1か月程度早くなった。理由は、議案書などを大会当日配付するのではなく、あらかじめ会員校に送付するように改めた為である。
- ・2018年度秋の研究交流集会は東北地区を予定している。
- ・特に、関私教協に関連したことでは、全私教協からの各地区教協の研究懇話会への協賛は、関私教協以外にはおこなっていないことから、常任理事会で今回の12月を最後として打ち切りの決定がなされた。

(4) 全私教協「研究交流集会」報告について

西村事務局長から、資料に基づき報告があった。主な内容は以下のとおり。

- ・11月25日（土）四国学院大学で305名の参加者があった。研究交流集会の内容としては、第1部は、「再課程認定の実務」という演題で文部科学省初等中等教育局教職員課 尾白泰次専門官による基調講演があり、第2部は、「教職課程コアカリキュラム・再課程認定と私立大学教職課程の課題」というテーマで、広島経済大学 田中 泉 教授、東京都教育庁指導部企画推進担当課 榎並 隆博 課長、玉川大学 森山 賢一 教授の3氏をシンポジストとしてシンポジウムが行われた。

(5) 『会報』第82号の編集について

徳田広報部 82号会報担当から進捗状況の説明の後、資料に基づき『会報』第82号の今後のスケジュールについて提案があり了承した。

(6) 『会報』第83号の編集について

木下広報部 83号会報担当から、『会報』83号は82号と同じ業者に発注したいとの提案があり了承した。

(7) 関私教協脱会校について

西村事務局長から資料に基づき前回の幹事校会において承認された日本教育大学院大学から

の退会届（2016年度末をもって関私教協を退会）の提出について説明があった。なお、全私教協の会員校でもあるので退会届を全私教協にも送り報告する。また、日本教育大学院大学の継承校である星槎大学への入会の勧誘を行っているところであるとの説明があった。

〔審議事項〕

（1）2017年度 第2回研究懇話会について

田中研究部長から、資料に基づき以下①～⑤の確認と提案があり了承した。

①開催案内と講演依頼状の確認

②第1部講演者（1）創価大学 島氏、玉川大学 平山氏、（2）東京都教育庁、神奈川県教育局、千葉県教育庁、埼玉県教育局、横浜市教育委員会とすることを確認

③進行スケジュール案、司会等役割分担について了承

④準備片付け等は、法政大学に依頼することを確認

⑤進行表の修正版については、予め幹事校に配付することを確認

なお、事務局から参加申込状況の報告があった。昨日27日（月）が申込締切日であったが、28日（火）昼時点の集計で、回答115校のうち研究懇話会出席79校、欠席36校で参加者総数149名、情報交換会参加者は49名であった。なお、未回答校には案内の再送を行っている。

（2）その他

広報部から資料に基づき、講演者に対する講演内容等の冊子化、HPへの掲載についての許諾について現行の承諾書の様式変更について提案があり、意見交換の結果、原案を基に修正案を提案することとした。

また、会報の電子データ化、HPに掲載する講演の概要作成、写真などについては、会報を作成する業者に依頼することとし、広報部の負担を軽減する。

なお、原案にいうデジタル化とは保存のための電子データ化のことであり、ISSNやISBNの取得やリポジトリ化については今後の検討課題とする。

第9回幹事校会開催予定 2017年12月17日（日）11：00～ 場所：法政大学

第10回幹事校会開催予定 2018年 1月24日（水）19：00～ 場所：田園調布学園大学